

三陸沿岸道路 普代道路 普代小学校津波対策に発生土を提供

概要

三陸沿岸道路「普代道路」は、下閉伊郡普代村第11地割から下閉伊郡普代村第16地割を結ぶ延長4.2kmの自動車専用道路です。この区間は、昭和63年度に事業化となりました。普代村の市街地を迂回することにより、市街地を通る大型車等が減少し、生活道路としての機能が向上することや、津波時には普代道路に避難できる階段が設置されるなど、安全・安心な住民生活に貢献するものと期待されています。

この普代道路の近くに位置する普代小学校は、東日本大震災時に津波がグラウンド面近くまで押し寄せてきました。このため普代村が、児童の安全を確保するためにグラウンドの嵩上げ工事を実施することになりました。

三陸国道事務所では、復興支援の一環として、普代道路工事から発生する土砂約8,000m³を普代村に提供しました。

三陸沿岸道路 普代道路 普代小学校津波対策に発生土を活用

日時：平成24年8月7日(火)～

場所：下閉伊郡普代村 普代小学校グラウンド

